

群馬支部たより

JDS 群馬支部ホームページ

<http://jdsgunman.justhpbs.jp/>

☆ 発行責任者 日本ダウン症協会 群馬支部支部長



令和3年度 第2回群馬支部セミナー

2021年12月5日（日）10:00～12:00 に第2回群馬支部セミナーがオンラインで開催されました。

今回は、群馬大学 共同教育学部 特別支援教育講座 霜田浩信先生をお招きして、テーマ『できた』を通して学ぶ — 子ども達の主体的な学びや活動をめざして — についてお話していただきました。参加された方の感想をご紹介します。

～ 第2回群馬支部セミナーに参加して ～

今回、初めてオンラインでのセミナーに参加させていただきました。午後に予定がありましたが、移動の時間がないので時間を気にせず参加できたのでとても良かったです。

先生のお話は丁寧でわかりやすく、あっという間の時間でした。

ただ単に動かす指示の言葉ではなく、本人の力を使って行動できるような環境を整える事。出来たときに褒める。ただ褒めるのではなく次のステップに繋がる褒め方をする。叱るときは感情が入ると怒られた事のみしか伝わらず、なぜやっではいけなかったのかまで教えられなくなってしまう。など、すぐに実行したい！変えていかなきゃ！と思うことばかりでした。また、セミナー最後には参加者からの質問に先生が丁寧に答えてくれました。

日頃どうにかしたいけどどうやって？と思っていた悩みを解決する糸口が見えた2時間でした。

また次回も参加して日頃の子育てに生かしていきたいと思いました。

（小学部の母）



日本ダウン症協会会報に群馬支部の事業が紹介されました

保育所、学校、福祉事業所職員、学生向けに行われる JDS 群馬支部ダウン症巡回セミナー ～子どもの可能性を求めて～

『子育て教室』からの多くの事例や経験を多くの方に知ってもらうためのセミナー

群馬支部では様々な支援活動を行っています。親が学ぶ『子育て教室』や、ダウン症について多くの方に知っていただくための『群馬支部ダウン症巡回セミナー』があります。

『子育て教室』では、相談員がダウン症の発達の特徴を伝えながら、生後間もなくから成人期までのお子さんに必要なかわりを親御さんと一緒に考え、バランスの良い成長に向かうようにお手伝いをしています。

『群馬支部ダウン症巡回セミナー』は、『子育て教室』に通う親御さんによる、子どもたちにかかわる保育園や学校の先生にも障がいの特性を知ってもらいたい、という願いから2013年より始まりました。対象団体は子どもたちにかかわる医療、教育、福祉の専門職や施設職員、そして将来その職種を目指している学生です。『子育て教室』の相談員が各会場に講師として出向き、ダウン症の特性を伝えるとともに子どもたちの発達の可能性を引き出す支援を、事例を交えながら具体的に話しをします。昨年度からは、群馬県共同募金会の配分金を受けての活動となり、群馬県内15カ所で開催することができました。



2019年度のセミナーのテーマは『ダウン症のある子どもの育ちと育て方』でした。受講してくださった福祉事業所の職員の方からは、「困った時や理解を深めたい時の相談する場所があることを知った」という感想や、教育学部の学生さんからは、「子どもたちにもダウン症の特性が周知されれば一緒に遊べると思うし、遊びの幅も広がると思う」という感想もいただきました。

親御さんからの、「学校の先生に受講していただき、今まで問題視されていなかったことにも意識が向くようになり、先生と共通理解ができたことで子どもの不自然な行動がなくなった」という報告も受けています。

さらに、群馬支部では子どもたちへの必要な支援として相談員によるサービス担当者会議立会いや、保育園や学校への訪問相談などを行っており、より深く子どもに必要な支援へとつなげていきます。

今後もダウン症への理解が深まり、必要な支援が受けられることを目指し、これまでの子育て教室の多くの事例と経験から学んだことを、『群馬支部ダウン症巡回セミナー』を通して、より多くの方へ伝えていきたいと思っております。

子育て教室研修相談員

* JDS ニュース 2020年7月号 No. 569 より転載



会員さんの近況報告

今年 3 月に地域の小学校を卒業するお子さんのお母さんに書いていただきました。

～ 卒業を迎えて ～

娘はこの 3 月、小学校を卒業します。6 年前、教育委員会の方と話し合いを重ね、何とか地域の小学校の支援学級に入学することができました。保育所では、教室からフラフラと出て行ってしまうような子だったので、小学校での生活にも不安がありました。

娘には支援の先生がついてくれ、いろいろな面で面倒を見てもらいました。先生方から、あいさつすること、授業中は席につくことなど、学校生活でのルールをしっかりと教えてもらいました。

入学して間もない 5 月に行われた運動会には、みんなと一緒に最後まで参加することができ、ほっとしたことを覚えています。それから 6 年間、友だちとのトラブルや先生との考え方のズレなどもありましたが、本人のペースで少しずつ学習を進め、楽しんで行事に参加し、係や委員会などの活動もしてきました。ゆっくりですが成長していることが実感できました。そして、何より娘が、学校が好きだと言うことがうれしく、関わってくれたすべての方に感謝したいと思います。

(小学部の母)

卒業を迎えるみなさん
ご卒業おめでとうございます



次回の支部たよりは 2022 年 6 月下旬に掲載を予定しています。



群馬支部 HP

